

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
小学校	橋本市立応其小学校	辻脇 昌義
学校所在地		
〒 6 4 9 - 7 2 0 3 和歌山県橋本市高野口町名古屋 1 9 - 1 tel 0736 (42) 2067 fax 0736 (44) 2132		
担当者名		役職名・担当教科
貝畑 毅		5年担任
<p>〔学校の概要〕</p> <p>本年度、応其小学校は、創立145周年を迎える歴史のある学校です。応其小学校の位置する橋本市高野口町は、北は和泉山脈、南は高野山に囲まれ、また町を東西に紀伊山地大峰山系からながれる紀の川が流れる豊かな自然がたくさんある町です。高野口町は、文字通り、昔から、高野山への登り口として発達してきており、今でも高野口駅前から宿や街道の旧跡が見られます。</p> <p>本校応其小学校の「応其」の地名は、高野山を秀吉の焼き討ちから救った「応其上人」に由来します。運動場北側には、応其上人の石碑があり、運動場周辺には、応其上人が田畑を潤すためにつくった引の池からの恵みの水が今も流れています。</p> <p>本年度の児童数は、15クラス、262名で、「ともに学ぶ教育をチーム応其で」という教育目標のもと、全教職員が力を合わせながら、学校運営をしています。児童の特徴としては、人懐っこく、元気な児童で、児童会を中心として、縦割りグループでの遊びや清掃活動等に熱心に取り組んでいます。また、地域の方々や保護者も学校に協力的で、見守り隊や図書ボランティアをはじめ、いろいろな面で支援をいただいています。</p>		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 5 年生 30 名	3 名 職員 3 名	学校
実践研究テーマ		
応其ふるさと学		
実践教科等名	単元名	
総合的な学習の時間	応其の歴史を知ろう	
<p>〔キーワード〕 地元ふるさとへの愛着と誇り 過去・現在・未来のつながり（持続可能な社会の担い手を育む教育（ESD））</p>		
<p>〔単元目標〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさとを学習することにより、過去から現在に至るまでの歴史を知るとともに、未来に向けてのまちづくり、持続可能な社会づくりについて考えることのできる児童を育成する。 ・SDGsの視点から、未来のまちづくりについて考えることのできる児童を育成する。 		
<p>〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕</p> <p>全体 35 時間 （「世界遺産高野山へ行こう！」 6 時間 ）</p>		
<p>〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕</p> <p>地域の歴史的な建物を訪れ、地域の歴史について詳しい校長先生から話を聞いたり、施設の方から話を聞いたりした。</p>		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	世界遺産を調べよう。	・インターネットや文献を活用して世界遺産について調べ、紹介したい世界遺産を見つけ自己決定させる。	情報活用能力 タブレット 課題発見力 タブレット
2	世界遺産を紹介しよう。	・自己決定した世界遺産の魅力を調べ、発表させる。世界遺産に登録された理由も調べることを通して、登録されるには理由があることを知るようにする。	課題追求力 ワークシート 自己表現力 発表
3	紀伊山地の霊場と参詣道について知ろう。	・インターネットや資料を活用して、一番身近な世界遺産について調べて知識を深める。	課題追求力 ワークシート
4	高野山に関係の深い寺院に訪れ、話を聞いて歴史や文化に触れたり、体験したりすることで、地域の素晴らしさを感じ理解を深める。	・九度山の慈尊院を訪ねたり、町石道を歩いたりすることを通して、地域の歴史に触れ理解を深める。	課題追求力 観察 自己表現力 ワークシート
5	世界遺産である地元の高野山に訪れ、高野山の歴史や文化に触れ、高野山の素晴らしさを感じ理解を深める。	・世界遺産について学習するとともに、道普請の整備作業を体験し世界遺産の保全についての理解を深める。	自己表現力 ワークシート
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>成果</p> <p>高野山と応其の関係が深いことを初めて知る児童が多く、ふるさとの素晴らしさを感じ、誇りをもつことができていた。道普請の整備作業では、世界遺産を守ることに携わったことが大きな経験であることだと感じることができ、自分たちにもできることがあると考えることができた。</p> <p>課題</p> <p>地域の方から応其の歴史を直接聞くことができなかつた。昔の街並みや行事などの詳しい話から雰囲気などをつかむことはできなかつたので、聞ける機会を設けたいと思った。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>実際に世界遺産である高野山を訪れ、世界遺産についての話を聞いたり、高野山内を歩いたりすることにより、高野山についての理解を深めることができ、また世界遺産を身近に感じることもできた。また高野山の学習だけでなく、地元高野口町との関わりも学ぶことで、町がどのように栄えてきたのか、高野山へ通ずる街道がどのような役割を果たしていたのかがよく理解できた。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>今後も、世界遺産高野山の学習をふるさと学習のカリキュラムに位置付けて実施していきたい。時間があれば、高野山内のフィールドワークを増やしたり、実際の阿字観や写経等の体験活動をしたりしながら理解を深めさせたい。また、高野口町内においても、実際に町を歩いて見学することで、歴史の面白さやロマンを体感させたい。</p>			

様式 2

令和3年度 「次世代育成事業」における学習記録

〔概要報告書 学習記録・活動写真〕



現地学習では、世界遺産について学習した。世界遺産の種類、世界各地にある世界遺産など、世界遺産とはどんなものなのかを学ぶことができた。

壇上伽藍の各建物の見学をした。世界遺産マスターの方から、お話を聞いたり、実際に歴史ある建物をみたりした。三鈷の松は縁起が良いと聞き、探して持ち帰る子どもたちが大勢いた。



世界遺産はその物だけではなく、その周りも整備する必要があることを学んだ後、道普請の補修作業に参加させてもらった。雨で道の土が流れてしまうので、土を運び固める作業を何度も繰り返し行った。子どもたちは、一生懸命に上り下りしながら力仕事を率先して行っていた。固める作業もさせてもらい、大変さを感じながらも、楽しんで作業していた。